



発行
日本共産党
春日部市委員会
春日部市中央
7-10-9
電話 736-9933
FAX 736-9991

松本ひろかず議員一般質問



子どもの安全は最優先 今こそ少人数学級を

16日、松本ひろかず議員は、①少なすぎる職員を増やして、市民にしっかりと寄り添う態勢を、②子どもを守り育てる学校に、の2点について一般質問をおこないました。

教室は「密集・密接」状態
1クラス20人以下に

緊急事態宣言が全面解除され、休校が続いていた学校も、

6月から再開しました。いま求められるのは一人ひとりを大切にする教育です。
【質問①】マスク、消毒液、非接触体温計、ペーパータオルなど物品の確保は、
・市の対策本部と連携し確保している。非接触体温計は、

1学級の人数(通常学級)

| 小学校・義務教育学校前期 | | |
|--------------|-----|-------|
| 人数 | 学級数 | 割合% |
| ～19人 | 3 | 0.9 |
| 20～24人 | 31 | 9.2 |
| 25～29人 | 115 | 34.0 |
| 30～34人 | 137 | 40.5 |
| 35～ | 52 | 15.4 |
| 計 | 338 | 100.0 |

※ 1クラス20人以上が99.1%

中学校・義務教育学校後期

| 人数 | 学級数 | 割合% |
|--------|-----|-------|
| ～19人 | 0 | 0.0 |
| 20～24人 | 2 | 1.4 |
| 25～29人 | 4 | 2.7 |
| 30～34人 | 39 | 26.5 |
| 35～ | 102 | 69.4 |
| 計 | 147 | 100.0 |

※ 1クラス20人未満はゼロ

市健康課から各校1台借用。
【質問②】「密集・密接」を避けるには、1教室何人が適当か。現在の1学級の人数は、概ね20人以下。現状は左表の通りで20人以下は3学級。
【質問③】「密集・密接」を避けるために今こそ、少人数学級の実施が必要だが、
・少人数での学習が望ましい。少人数学級編成は国の定数改善による。国・県に引き続き要望していく。
【質問④】「席の間隔の確保、歌唱指導、体育などの身体接触、給食は前を向いて、遊具では遊ばないで」など機械的に注意

ばかりしていたら信頼関係が失われる。柔軟な対応が必要と考えるが。

・前例のない事態のため、安全を第一に1人ひとりの心情に寄り添いながら発達段階に応じた丁寧な指導をする。

【質問⑤】学習の遅れを取り戻すために、忙しく窮屈な学校生活を強いれば、負担が増え、かえって「感染リスク」を高める。子ども・教職員の過度な負担とならないよう、これからの学校には、本当の「ゆとり」が必要と思うが。

・行事の精選、指導計画の見直しを行い、時間を効率的に使い、過度な負担とならないように授業計画を立てている。

【質問⑥】子どもの貧困が深刻になっている。就学援助を生活保護基準の1・3倍から1・5倍に戻すべき。

・現状を維持する。

副市長は「職員管理計画を前倒しして、職員を増員してい

く」と答えました。

並木としえ議員一般質問



春日部に児童相談所設置を
市長「県に要望する」と答弁

6月16日、並木としえ議員は6月定例市議会にて①児童虐待・DV防止の支援強化

②子どもの遊びと生活を保障する学童保育、の2点について一般質問をおこないました。

コロナ禍で
虐待もDVも増加

新型コロナウイルスの感染防止のため、学校休業、テレワーク、外出自粛など、家族そろって1日中家にいる状況が続く、さまざまな

ストレスから児童虐待・DVが増加しています。春日部市では、今年3月～5月の虐待通報件数は98件で昨年同月比30件増加(1.4倍)。DVは月平均8件から10件(1.25倍)に増加しています。

見えづらくなる児童虐待・DVの把握と支援強化のために、①週1回程度の訪問・電話による安全確認、②児童虐待・DV対策の連携強化、③SNS相談の開設を提案しました。子ども未来部長は、週1回以上の安全確認、虐待とDVの連携は実施していることを明らかにし、SNS相談は実施に向けた検討を進めると答弁しました。

人口20万人以上の市で児童相談所がないのは、県内では春日部だけです。児童相談所設置を県に要求すべき、と主張しました。市長は「児童相談所の役割は大変大きい。機会をとらえて県に要望していく」と答えました。

学童保育所は
市が直営で!

学校が一斉休業となる中、厚生労働省は学童保育は「原則開所」としました。

感染を防止しつつ子どもの遊びと生活を保障するために、①「密」を避けるために施設基準、定員の見直し、②常勤支援員を全クラスに複数以上の配置を、と主張しました。子ども未来部長は、「密」を避けるために、体育館の使用など学校の協力をお願いしている

が、基準の見直しについては国・県の動向を見守る、と答弁しました。

学童保育(放課後児童クラブ)は、緊急事態のもとでも「原則開所」を求められる施設で、子どもの命と「育ち」を守らなければなりません。民間株式会社に運営を丸投げする「指定管理者制度」には、そもそもなじまないものです。

春日部市放課後児童クラブは、民間株式会社「トライ」に運営を委託していますが、臨時休業中のほとんどの期間、朝から開所することができません。これを機に、指定管理者制度をやめ、市が責任を持って運営すべきと求めました。市長は「保育の質の向上と子どもたちの安全、安心を最優先に、今後とも適切に運営していく」と述べるにとどまりました。



市立医療センター Ⅷ735-1261(夜間毎日、土・日・祝日)内・外科系 小児救急電話相談 #7119
6/21(日) みくに医院(内科系) 下大增新田97-1 電話737-1212 宇野クリニック(小児科系)
春日部1-6-5電話760-3711 佐藤整形外科(外科系) 大場1385-3電話731-4550
6/28(日) みどり内科医院(内科系) 緑町4-13-25 電話745-5000 岡田医院(小児科系)
一ノ割2-6-21電話735-7848 梅原病院(外科系) 小淵455-1電話752-2152